

RYOBI®

集じん機

VC-221・VC-380

取扱説明書

ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みください。
また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。

乾湿両用

VC-221

〈屋内用〉

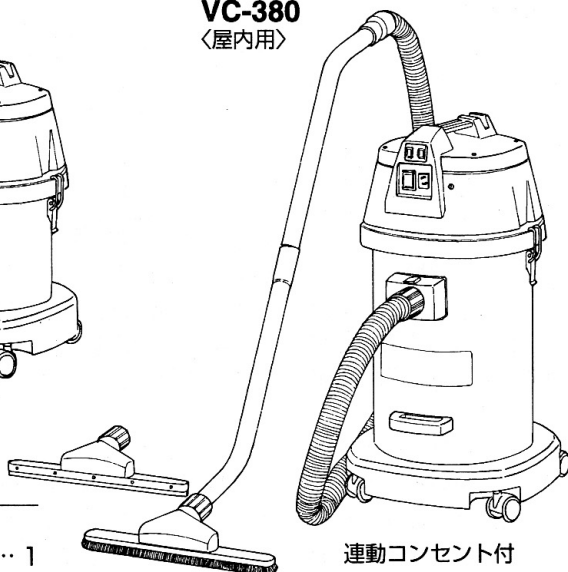


連動コンセント付

乾湿両用

VC-380

〈屋内用〉



連動コンセント付

もくじ

・安全上のご注意	1
・各部の名称	5
・仕様、付属品	6
・別販売	7
・ご使用前に	7
・操作方法	13
・保守と点検	22

このたびは、リョービ集じん機をお買上げいただきありがとうございます。
安全に能率よくお使いいただくために、ご使用前にこの安全に関する注意事項、及び取扱説明書を最後までよくお読みください。
使用上の注意事項、商品の能力、使用方法など十分にご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるようお願いいたします。

注意文の **⚠警告**、 **⚠注意** の意味について

ご使用上の注意事項は **⚠警告** と **⚠注意** に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

なお、**⚠注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。

いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

⚠警告：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容のご注意

注意：商品の据付け、操作、メンテナンスに関する重要なお注意。

■安全上のご注意

- ・火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、つぎに述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- ・お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠ 警告

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ・散らかった場所や作業台は、事故の原因になります。
2. 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - ・電動工具は、雨中で使用したり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
 - ・作業場は十分に明るくしてください。
 - ・可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
3. 感電に注意してください。
 - ・電動工具を使用中、身体をアースされているものに接触させないようにしてください。
(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
4. 子供を近づけないでください。
 - ・作業員以外、作業場へ近づけないでください。
5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。

△ 警告

- ・乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。
- 6. 無理して使用しないでください。
 - ・安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った早さで作業してください。
- 7. 作業に合った電動工具を使用してください。
 - ・小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
 - ・指定された用途以外に使用しないでください。
- 8. きちんとした服装で作業してください。
 - ・だぶだぶの衣服やネックレス等の装身具は、回転部に巻込まれる恐れがありますので着用しないでください。
 - ・屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑止めのついた履物の使用をお勧めします。
 - ・長い髪は、帽子やヘアカバー等で覆ってください。
- 9. 保護めがねを使用してください。
 - ・作業時は、保護めがねを使用してください。また粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
- 10. コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
 - ・コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- 11. 加工する物をしっかりと固定してください。
 - ・加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
- 12. 無理な姿勢で作業しないでください。
 - ・常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
- 13. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。
 - ・安全に能率良く作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
 - ・注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買上げの販売店またはリョービ販売営業所に修理を依頼してください。
 - ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースがつかないようにしてください。
- 14. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。
 - ・使用しない、または修理をする場合。

△ 警 告

- ・刃物、砥石、ビット等の付属品を交換する場合。
 - ・その他危険が予想される場合。
15. 調節キーやレンチ等は、必ず取外してください。
 - ・電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチ等の工具類が取外してあることを確認してください。
 16. 不意な始動は避けてください。
 - ・電源につないだ状態で、スイッチに指をかけて運ばないでください。
 - ・プラグを電源にさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
 17. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
 - ・屋外で使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
 18. 油断しないで十分注意して作業を行なってください。
 - ・電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況等十分注意して慎重に作業してください。
 - ・常識を働かせてください。
 - ・疲れている場合は、使用しないでください。
 19. 損傷した部品がないか点検してください。
 - ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
 - ・可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
 - ・損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買上げの販売店またはリョービ販売営業所で修理を行なってください。
スイッチが故障した場合は、お買上げの販売店またはリョービ販売営業所で修理を行なってください。
 - ・スイッチで始動および停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。
 20. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
 - ・本取扱説明書およびリョービパワーツールカタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがありますので使用しないでください。
 21. 電動工具の修理は、専門店に依頼してください。
 - ・本製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
 - ・修理は、必ずお買上げの販売店またはリョービ販売営業所にお申し付けください。
 - ・修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。

騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県等の条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。

●集じん機ご使用に際して

先に電動工具としての共通の注意事項を述べましたが、集じん機をご使用の際には、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

△ 警 告

1. 使用電源は、銘板に表示してある電圧でご使用ください。
 - ・表示を超える電圧で使用しますと、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
2. 電源の接続前には、必ずアースを接続してください。
また、電源コードを電源コンセントに接続する前に、スイッチが切れていることを確認してください。
3. 雨中、ぬれた場所、湿気の多い場所で使用しないでください。
 - ・感電の原因になります。
 - ・乾湿両用タイプでも防水構造ではありません。
モーターがぬれるような使い方をされますと、モーターの絶縁低下、感電事故、錆発生の原因となります。
4. 引火の恐れのある揮発性可燃物（シンナー、ガソリン等）や化学薬品、薬剤類、タバコの吸殻などの吸い込み、および周辺での使用はしないでください。
 - ・引火、爆発、火災の原因になります。
5. 使用中は、吸い込み口周辺や回転部に人や動物の手や顔などを近づけないでください。
 - ・けがや思わぬ事故の原因になります。
6. 集じん機が使用中に転倒した時は、ただちに電源を切り、機体を立て直してください。
7. 乾湿両用タイプの場合、湿式での使用時に吸い込んだ水の量がタンクの規定量を超えると、中のフロートが作動して吸い込まなくなります。
 - ・ただちにスイッチを切って、タンク内の水を排出してください。
なお、フロートが作動した状態で吸い込みが停止しても、モーターは回転したままの状態です。
8. フィルタやノズル類は常に手入れを行なってください。また使用の都度、タンク内に溜まった粉じん等は捨ててください。
9. ご使用前には、必ず取扱説明書を十分読み、指定された以外の用途にはお使いにならないでください。

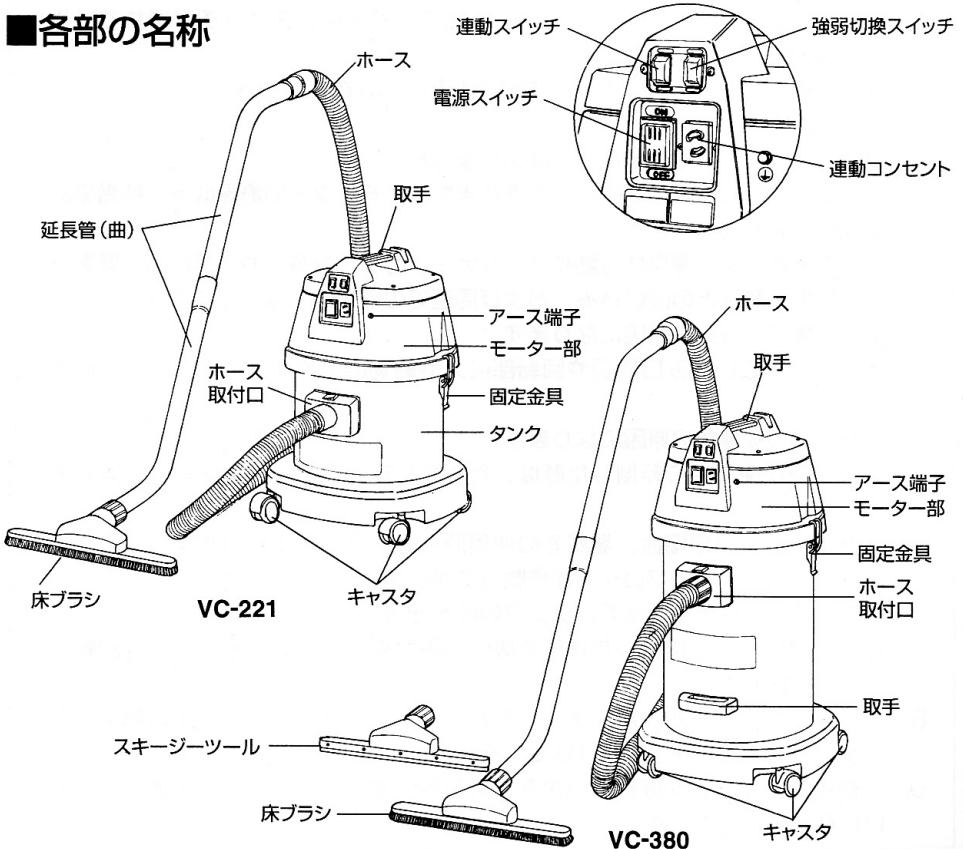
⚠ 警告

10. 使用中、機械の調子が悪かったり異常音がしたときは、ただちにスイッチを切って使用を中止し、お買上げの販売店またはリョービ販売営業所に点検・修理を依頼してください。
 - ・そのまま使用しますと、けがの原因になります。

⚠ 注意

1. 乾湿両用タイプの場合、フィルタを付けたままの吸水後、フィルタが漏れた状態で乾式集じんをされますとフィルタ目詰まりの原因になります。
 - ・湿式使用時は出来る限り、フィルタを取り外してご使用ください。
2. 乾湿両用タイプの乾式使用時および乾式専用タイプで、フィルタなしで粉じんを吸い込まれますと、吸い込んだ粉じんが飛散することになります。必ずフィルタを装着して吸じん作業を行なってください。
3. タンク内に溜まったものは、運転終了後排出してください。そのまま放置しますと、悪臭やカビ、錆発生の原因になります。

■各部の名称



仕様

モデル	VC-221	VC-380
タイプ	乾湿両用	
電源	AC100V(50Hz仕様・60Hz仕様)	
電流値	強 11A・弱 7A	
消費電力	強 1,050W・弱 670W	
吸込仕事率	強 260W・弱 150W	
最大風量	強 3.1m ³ /min・弱 2.4m ³ /min	
最大真空度	強 19.6kPa・弱 14.7kPa	
タンク容量	22ℓ	38ℓ
集じん容量	12ℓ	28ℓ
吸水容量	10ℓ	27ℓ
運転音	強 65ホン(3m)・弱 60ホン(3m)	
連動コンセント	強 100W~380W・弱 100W~760W	
電源コード	5m	
機体寸法	長さ413×幅413×高さ570mm	長さ413×幅413×高さ760mm
重量	10kg	11kg

*連動コンセント：接続可能な電動工具の消費電力。

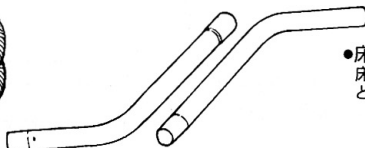
規定値以上の消費電力の電動工具を使用しますと、本機側プラグに規定値を超える電流が流れるため、「連動」ではご使用いただけません。

本機のプラグを接続しているコンセントとは別のコンセントに、電動工具のプラグを接続してください。

付属品



●ホース
内径38mm×長さ2m



●延長管(曲)
ステンレス製・2本セット



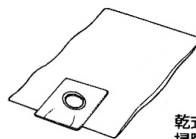
●床ブラシ
床面などの乾いた
ところの吸じん清掃に



●スキージーツール
床など平らな面の、水分の
吸い込み回収に



●フィルタ
(樹脂ホルダ付)
乾湿両用に使用できる
フィルタです。繰り返し
の使用が可能です。



●紙バックフィルタ
乾式集じん時に、家庭用
掃除機同様に紙バックご
と捨てられます。

- ・ホース(内径38mm×長さ2m)……1本
- ・延長管(曲)……………2本
- ・床ブラシ……………1個
- ・スキージーツール……………1個
- ・紙パックフィルタ……………5袋

■別販売

- ・ホース(内径38mm×長さ5m)
- ・紙パックフィルタ(10袋入り)
- ・クレバイスツール(狭いところの吸じんなどに)
- ・丸ブラシ(窓枠、棚、コーナー部の掃除に)
- ・粉じん用フィルタ(サイディング、コンクリートなどの切削粉の吸引に)
- ・高性能フィルタ(撥水、撥油処理加工の乾湿両用タイプ)
- ・スキージー(スキージーツール用替えゴム)
- ・カーベットツール(カーベットの吸じん清掃に)

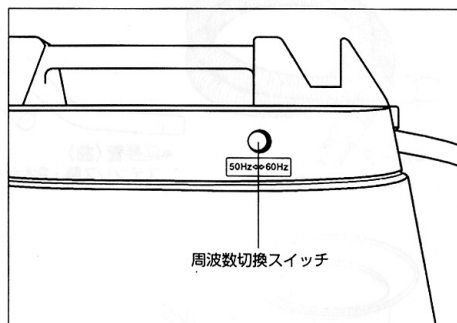
■ご使用前に (各部の組付け)

⚠ 警告

1. 各部の組立て、調整、部品交換等の際にはスイッチを切りプラグを電源から抜いてください。
不意な始動によるけがの原因となります。

●周波数の切替

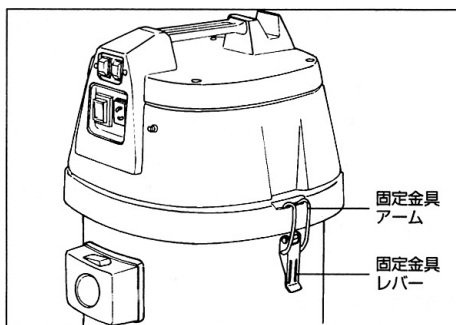
- ・本機は50Hz・60Hz共用ですが、お住まいの地域により周波数を切替えていただく必要があります。
- ・出荷時は60Hzに設定されていますので、50Hzの地域にお住まいの方は周波数切替スイッチにより周波数を切替えてください。



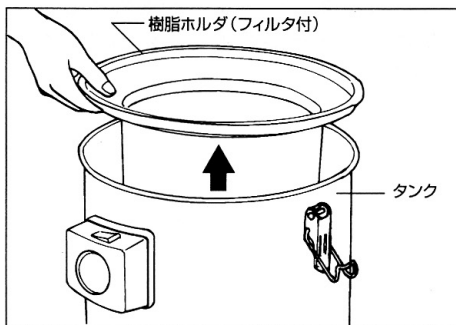
●フィルタの取付け、取外し

注) フィルタは乾湿両用に使用できます。

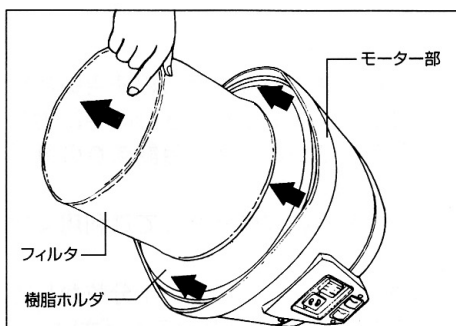
- ・タンクとモーター部を固定している2ヶ所の固定金具のレバーを起こし、アームを開いて、モーター部を取外してください。



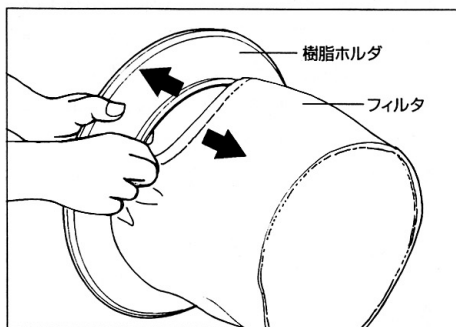
- ・フィルタを取付けている樹脂ホルダのエッジ部分が、タンク内部の外周に合うように取付けられています。樹脂ホルダのエッジ部分を持ち、静かに持ち上げ、タンクから樹脂ホルダ（フィルタ）を取外してください。



場合によっては、モーター部（バスケット部）に樹脂ホルダが貼付していることがあります。その場合は、フィルタの布部分を持ち、静かにモーター部のバスケットより取外してください。

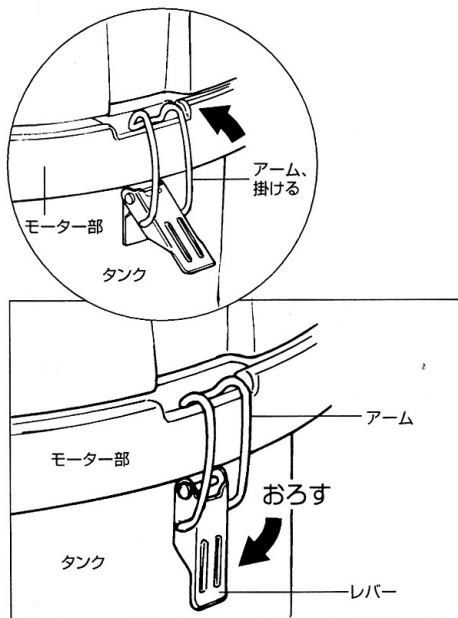


- ・樹脂ホルダとフィルタは取外しができません。フィルタのみ交換してください。フィルタを交換したときは、確実に樹脂ホルダにフィルタが取付けられていることを確認してください。確実に取付けられていないと、使用中にフィルタが外れるなど、トラブルの原因になります。



- ・フィルタを確認後、タンクの内側上部の外周に、樹脂ホルダのエッジ部分を合わせセットしてください。
このとき、樹脂ホルダのエッジ部がタンク外周に合い、正しくセットできたことを確認してからモーター部を乗せてください。

- ・前後方向を確認したのち、固定金具のアーム（左右2本）をモーター部の外周に掛け、それぞれレバーを降ろしタンクとモーター部を正しく組付けてください。



- ・フィルタは、乾湿両用にご使用いただけるフィルタですが、水分の中に汚れが混入していると、目詰まりの原因にもなりかねません。

できるだけ乾式専用としてご利用ください。

湿式で使用された後は、十分乾かしてから乾式集じんを行なってください。

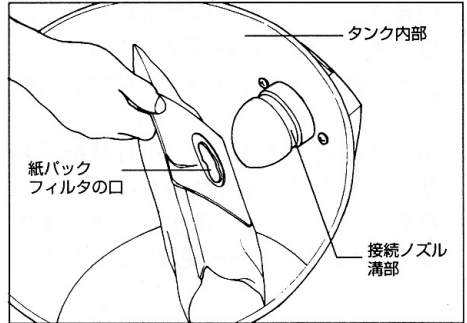
濡れた状態のまま乾式集じんを行ないますと、フィルタ表面に粉じんが貼付き、目詰まりの原因となります。

なお、汚れが目立つ場合は、表面に貼り付いた粉じんを取払ってから、中性洗剤を溶かした水で軽く押し洗いを行なってください。

汚れを取り除いた後に清水で十分すすぎ、形を整え乾かしてから、使用してください。

●紙パックフィルタの取付け、取外し
(乾式専用)

- ・タンクとモーター部を開き、樹脂ホルダ（フィルタ）を取外してください。
- ・紙パックフィルタの方向を確認してから、タンク内部の接続ノズルに、紙パックフィルタの口を合わせます。
- ・紙パックフィルタの口を、接続ノズルの溝部まで挿入し、取付けてください。



- ・確実に紙パックが装着できましたら、タンクの上に、元のようにフィルタ（樹脂ホルダ）をセットし、モーター部を乗せ、固定金具でタンクとモーター部を組付けてください。
- ・運転中など吸い込み状況が悪くなった時には、時々紙パックフィルタの集じん状況を確認してください。
内部がいっぱいでしたら、紙パックフィルタの口紙の持手部分を持って、静かに接続ノズルより引き抜き、取外してください。
そのまま、口紙部分を上にして、ゴミ箱などに紙パックフィルタごと捨ててください。

注) 紙パックフィルタを捨てる際、紙パックフィルタの側面などに触れたり、衝撃を与えると、内部の粉じんなどが吹出すことがあります。
必ず、屋外などで静かに取出し処分してください。

●高性能フィルタの取付け、取外し

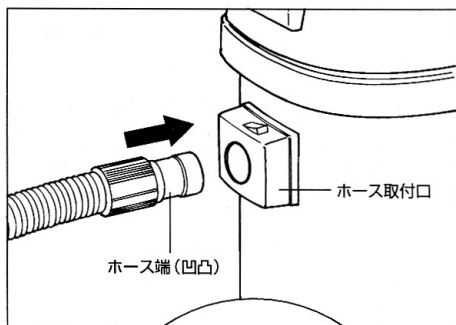
(別販売)〈乾湿両用タイプ〉

- ・取付け、取外しは通常のフィルタと同じ要領で行ないます。
- ・湿式で使用された後は、十分乾かしてから乾式集じんを行なってください。
濡れた状態のまま乾式集じんを行ないますと、フィルタ表面に粉じんが貼り付き、目詰まりの原因となります。
- ・なお、時々フィルタの汚れ具合を点検してください。

汚れが目立つ場合には、中性洗剤を溶かした水で軽く押し洗いを行ない、汚れを取り除いた後、清水で十分すすぎ、形を整え乾かしてから使用してください。

●ホース、延長管、床ブラシなどの取付け

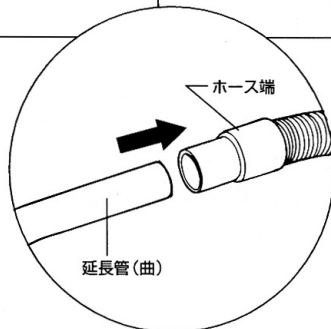
- ・タンクのホース取付け口に、凹凸のあるホース端を合わせ、「カチッ」と音がするまで挿入し、ホースとタンクを固定してください。



- ・残る一方のホース端を延長管の上側にかぶせ、抜け落ちないように、奥まで確実に差し込んでください。

延長管(上用)の、曲りのある側をホースに接続してください。

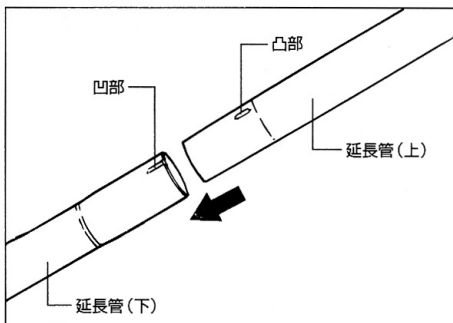
注) 延長管(上用)は、曲りのある側が同じ太さのままです。



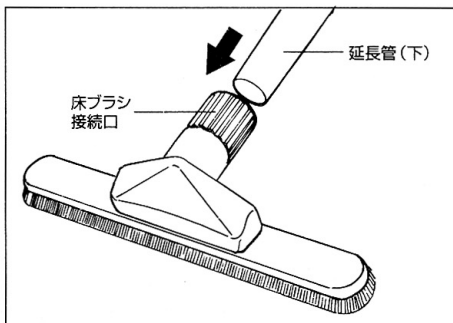
延長管（下用）に接続する側は、直線の端がテーパ状に絞り込んであります。

また、位置合わせ用の突起があります。延長管（下用）は、曲りのある側がテーパ状に絞り込んであり、逆の直線の端は、延長管（上用）が入れるように、やや太く膨らませてあり位置合わせ用の凸部が収まる凹部が設けてあります。

- ・延長管と延長管の接続は、延長管（上用）の直線側端にある凸部を、延長管（下用）の直線側にある凹部に合わせ、差し込んでください。
使用中、抜けないよう確実に差し込み組付けてください。

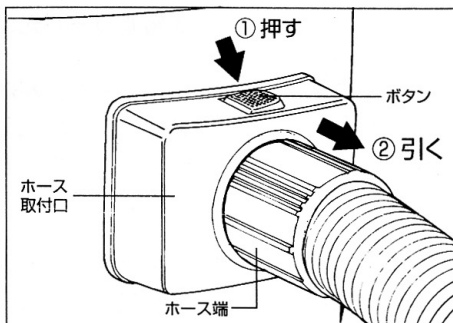


- ・延長管（下用）の曲り側の先端を床ブラシの接続口に合わせ、抜け落ちないように奥まで確実に差し込み接続してください。

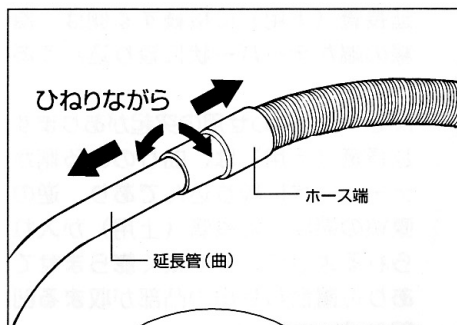


●ホース、延長管、床ブラシの取外し

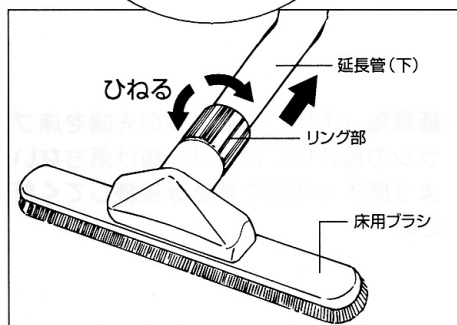
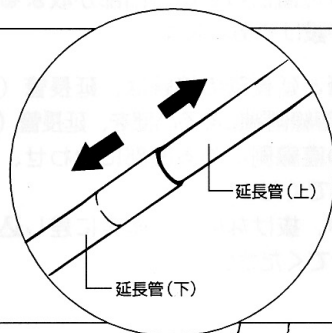
- ・タンクからホースを取外すときは、タンクのホース取付口のボタンを押さえ、ホースを引抜いてください。



- ・延長管からホースを外すときは、延長管が回らないよう手で支え、ホース側の端をひねり回し、引抜いてください。
- ・延長管(上用)と延長管(下用)を分離するときは、(左右に軽く)こねるようにして、垂直に引抜いてください。



- ・延長管(下用)と床ブラシを分離するときは、延長管を手で支えながら、床用ブラシのリング部を回し、ひねりながら引抜いてください。



■操作方法

⚠ 警告

1. 電源接続の前に、必ず電源コード先のプラグ部より出ているアースクリップをアース端子に接続してください。
また、電源コード(電源プラグ)を電源コンセントに接続する前に、スイッチが切れていることを確認してください。
2. 連動コンセントに接続して、電動工具をご使用になる場合は、必ず接続する電動工具の消費電力が連動コンセント部に表示の規定値を超えないようにしてください。
万一、超えて使用されますと能力低下や発熱など、機器に悪影響を与えるだけでなく故障や発火事故の原因となります。

⚠ 警告

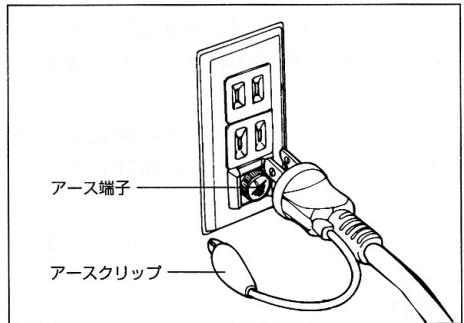
3. 電動工具のスイッチは、必ず切った状態で電源プラグを連動コンセントに接続してください。
また、集じん機側の電源スイッチも切った状態にしてください。
4. 電動工具がシングル絶縁の場合には、電動工具の電源プラグを連動コンセントに接続する前に、必ず連動コンセント横のアース端子にアース接続を行なってください。
5. 明るいところで使用してください。
6. 作業の際は、安定した状態で使用してください。
7. 部品の接続、調整の際は安全のため必ず電源コンセントより電源コード（電源プラグ）を外してください。
8. 安全のため、必ず保護めがねや、粉じんの多い作業では、防じんマスクなど保護具を着用してください。

●電源の接続

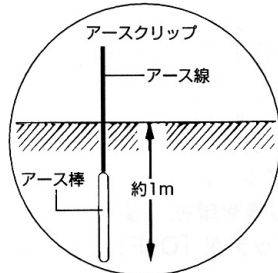
⚠ 警告

1. 引火の恐れのある微粒粉じん、揮発性可燃物（シンナー、ガソリン等）や化学薬品、薬剤類、タバコの吸殻などの吸込み、および周辺での使用はしないでください。
引火、爆発、火災などの原因になります。

- ・集じん機の電源を接続する前に、アースを接続してください。
電源コード先の電源プラグから出ている、アースクリップをアース端子に接続してください。

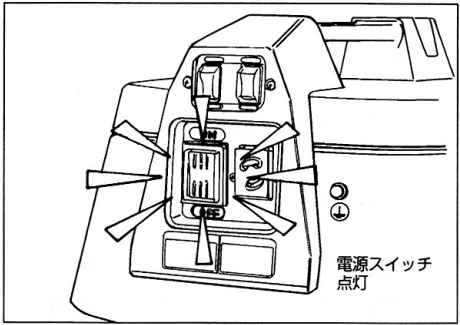


- ・アース端子が無い場合、アース端子を設置する電気工事（アース棒やアース板を地中に埋め込みアース線を接続）を行なうためには、電気工事士の資格が必要です。
最寄りの電気工事店にご相談ください。



- ・ホース、延長管、床ブラシなどを取付けた後、集じん機の電源スイッチが切れて(OFF)いることを確認してから、電源プラグを電源コンセントに差込み、接続します。

電源プラグが接続されると、集じん機の電源スイッチ内部のランプが点灯し、通電を表示します。



- ・延長コードの使用について

延長コードをご使用になる場合は、延長コードの太さが 1.25mm^2 の場合は30mまで、延長コードの太さが 2mm^2 の場合は50mまでご使用いただけます。効率の良い運転のためには、できるだけ短い延長コードを使用してください。

- 注) 電動工具が連動コンセントに接続してあるときは、電動工具のスイッチが切れていることを確認してください。

●スイッチ

- ・スイッチはシーソー型スイッチです。

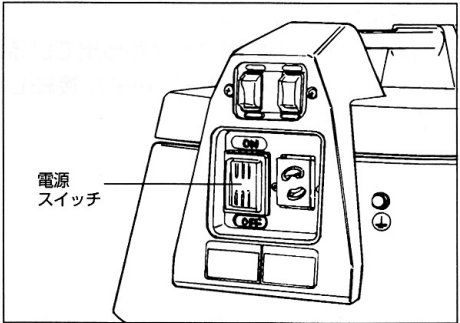
〈電源スイッチ〉

電源スイッチの「ON」側を押すと電源が入ります。「OFF」側を押すと、電源は切れます。

集じん機を単独で使用する時には、集じん機のスイッチとして操作してください。

ただし、連動スイッチが「OFF」になっていないと、集じん機のスイッチとして働きません。

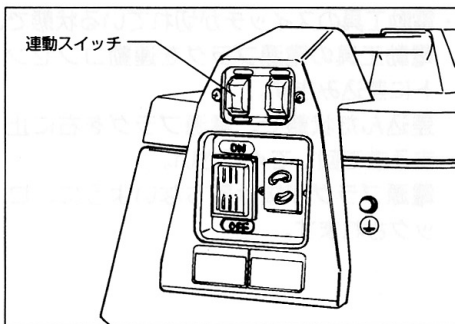
- 注) 集じん機の電源プラグが電源コンセントに接続されているとき、集じん機の電源スイッチをONにしますと、連動コンセントに通電します。また、集じん機も動き出します。



〈連動スイッチ〉

- ・集じん機を単独で使用するときは、連動スイッチを「OFF」にしてください。

- ・連動コンセントに電動工具が接続されているとき、連動スイッチを「ON」、集じん機の電源スイッチも「ON」の状態、電動工具のスイッチを入ると、集じん機が連動し、集じんを開始します。また、電動工具のスイッチを切ると、約7秒遅れて集じん機のモーターが停止します。



注) 連動スイッチが「OFF」の状態でも、集じん機の電源スイッチが「ON」に入っていると(集じん機は運転中)、連動コンセントには通電しています。接続した電動工具の「ON」「OFF」が、集じん機と連動しないだけです。

〈強弱切換スイッチ〉

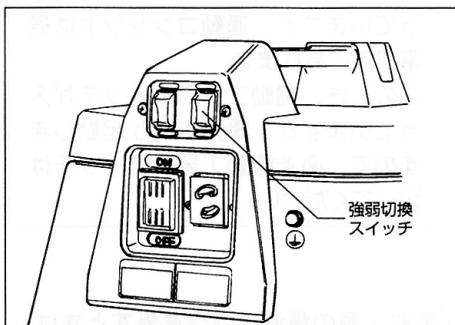
接続される電動工具の消費電力に合わせ、強弱をスイッチで設定してください。

「強」の場合は、100W～380Wの消費電力の電動工具が接続できます。

また、吸じん力も強くなります。

「弱」の場合は、100W～760Wの消費電力の電動工具が接続できます。

吸じん力がやや弱くなる反面、音が静かになります。

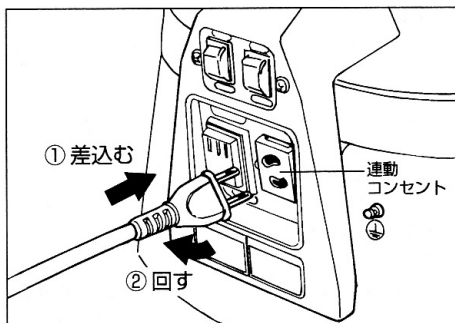


●連動コンセントの接続

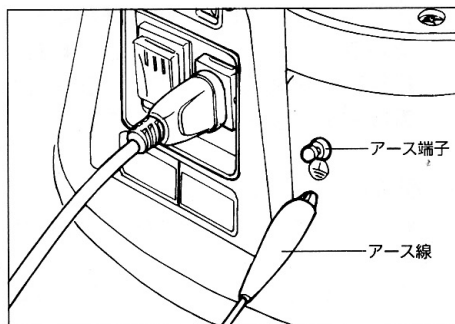
⚠ 警告

1. 連動コンセントに接続して、電動工具をご使用になる場合は、必ず接続する電動工具の消費電力が連動コンセントに表示の規定値を超えないようにしてください。
万一超えて使用されますと、能力低下や発熱など機器に悪影響を与えるだけでなく、故障や発火事故の原因となります。
2. 電動工具のスイッチが、必ず切れている状態で電源プラグを連動コンセントに接続してください。
また、集じん機側の連動スイッチも切った状態で接続してください。
3. 電動工具がシングル絶縁の場合には、電動工具の電源プラグを連動コンセントに接続する前に、必ず連動コンセント横のアース端子にアース接続を行なってください。

- ・電動工具のスイッチが切れている状態で、電動工具の電源プラグを連動コンセントに差込みます。差込んだ状態で、電源プラグを右に止まるまで回してください。電源プラグが抜け落ちないように、ロックされます。



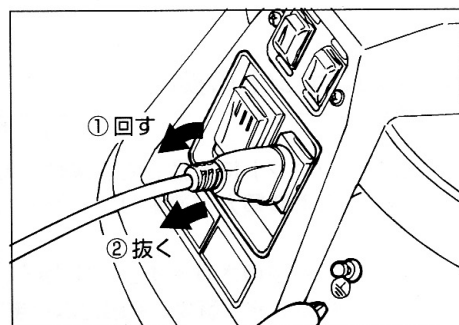
- ・電動工具がシングル絶縁の場合は、あらかじめ集じん機のアース端子に電動工具のアースクリップを接続してください。



⚠ 警告

- ・集じん機の電源スイッチ「ON」になっていますと、連動コンセントは通電状態にあります。このとき、電動工具のスイッチが入っていると、電動工具が起動しますので、必ず電動工具のスイッチは切ってください。

- ・電動工具の電源プラグを外すときは、電源プラグを左に止まるまで回し、ロックを解除してください。解除後手前に引けば、電源プラグは抜けます。アース端子にアースクリップを接続しているときは、アース線も外してください。

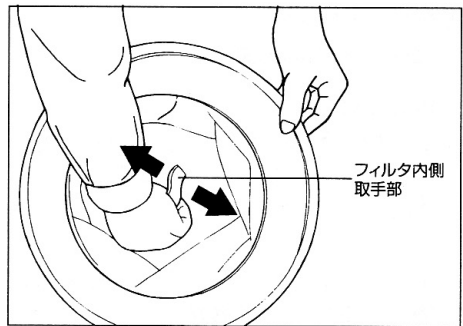


●フィルタの清掃

- ・乾式で集じんを重ねますと、フィルタ目詰まりを起こし、集じん力が弱くなります。

時々、フィルタに溜まった粉じんを取除いてください。

- ・集じん力が弱いと感じたら、フィルタを取り出し、屋外など粉じんの影響の無いところでフィルタ内側の取手部を持ち、軽く左右に振るなど、はたいてください。



注) 粉じんをはたくとき、ホコリが周囲の迷惑にならないところで行なってください。風向きを考えてください。強くフィルタをはたくと、フィルタ損傷の原因になります。

●運転

⚠ 警告

1. 電源コンセントに電源プラグを差し込む前に、集じん機および電動工具のスイッチが切れていることを必ず確認してください。
 - ・スイッチが入ったまま電源プラグを電源コンセントに接続しますと、急に動き出し事故の原因になります。
2. 電動工具がシングル絶縁の場合は、アースを必ず接続してください。
 - ・感電事故の原因になります。
3. 湿式での使用の場合は、安全のため、ゴム製の手袋やゴム底の長靴を着用して、感電事故のないようご注意ください。
4. 湿式での使用では、吸込んだ液体を排出する時に(安全のため)、必ず事前に集じん機の電源プラグを電源コンセントから外してください。
5. 湿式での運転中、集じん機が転倒した場合は、ただちに電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから外してください。

⚠ 注意

1. 湿式での使用では、吸込んだ液体が規定量に達すると、内部のフロートが働いて吸い込みを停止します。
このとき、吸い込みは停止してもモーターは回転を続けていますので、速やかに電源スイッチを切りモーターの回転を止めてください。

●乾式・単独運転

〈集じん機のための運転〉

- ・集じん機に紙パックフィルタをセットするか、そのままフィルタのみで集じんを行なうかを決め、準備をしてください。
- ・ホース、延長管、床ブラシを接続した後に、集じん機の電源スイッチが切れて(OFF)いることを確認してください。
- ・電源プラグから出ているアースクリップを接地し、電源プラグを電源コンセントに接続してください。
電源スイッチのランプが点灯します。
- ・連動スイッチを「OFF」にした後、電源スイッチを「ON」にしますと集じん機が運転を開始します。
床ブラシ等を使って集じん作業を行なってください。
- ・一通りの作業を終えましたら、電源スイッチを切り(OFF)、電源コンセントから電源プラグを抜いてください。
- ・電源コードは、邪魔にならないようにとりまとめ収納してください。
- ・タンク内部に溜まった、または紙パックフィルタに溜まったダストの量に合わせ、ダストを排出処分してください。



スイッチ操作

電源コンセント接続



連動スイッチOFF



電源スイッチON



作業

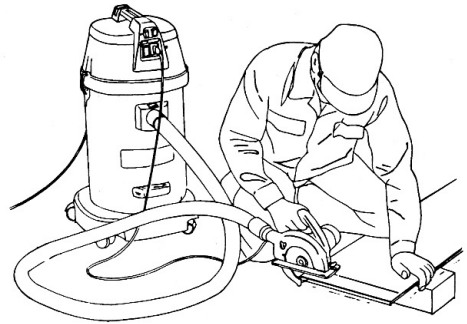


電源スイッチOFF

●乾式・連動運転

〈電動工具と連動運転〉

- ・フィルタのまま集じんを行なうか、紙パックフィルタを使用するかを決め、準備します。
 - ・ホースなどを、集じん機と接続する電動工具の集じんダクトなどに接続してください。
 - ・集じん機の電源スイッチが「OFF」になっていることを確認した後、集じん機のアースクリップを接地、続いて電源プラグを電源コンセントに接続してください。
 - ・電動工具の消費電力を確認したのち、集じん機の強弱切換スイッチを電動工具の消費電力に合わせ切換えます。
 - ・連動スイッチを「ON」にしてください。
 - ・つぎに、電動工具のスイッチが「OFF」になっていることを確認し、電動工具のアースクリップを集じん機のアース端子に接続してください。
続いて、連動コンセントに電動工具の電源プラグを接続してください。
- 注) 電動工具の消費電力が規定値を超える場合は、連動コンセントは使えません。
電動工具の電源プラグは、集じん機とは別の電源コンセントに接続して、別々にお使いください。
- ・電動工具のスイッチを入れますと、同時に集じん機の運転が開始されます。
 - ・電動工具のスイッチを切りますと、約7秒遅れて集じん機の運転は停止します。



スイッチ操作

強弱切換スイッチ
「弱」または「強」

連動スイッチON

電動工具スイッチOFF

電動工具接続

電源スイッチON

電動工具スイッチON

作業

電動工具スイッチOFF

電源スイッチOFF

電動工具を外す

- ・作業終了後は、集じん機の電源スイッチを切り(OFF)、電動工具の電源プラグを集じん機の連動コンセントから抜いてください。
- ・使用しないときは、集じん機の電源プラグを電源コンセントから外し、電源コードをとりまとめ収納してください。
- ・タンク内部に溜まった、または紙パックフィルタに溜まったダストの量に合わせ、ダストを排出処分してください。

●湿式・単独運転

〈集じん機のための運転〉

注) 湿式運転の時は、紙パックフィルタを付けないでください。

乾式運転で吸い込んだダストは、必ず排出してから湿式運転を行なってください。

⚠ 警告

- ・感電事故を防止するため、ゴム製の手袋やゴム底の長靴を着用してください。

- ・ホース、延長管、スキージーツールを接続した後に、集じん機の電源スイッチが切れて(OFF) いることを確認してください。

プラグから出ているアースクリップを接地し、電源プラグを電源コンセントに接続してください。

電源スイッチのランプが点灯します。

- ・連動スイッチが切れて(OFF) いることを確認してください。

- ・スキージーツールが水面(液体)に接している状態で、集じん機の電源スイッチを入れ(ON)、運転を開始してください。



スイッチ操作

電源コンセント接続



連動スイッチOFF



電源スイッチON

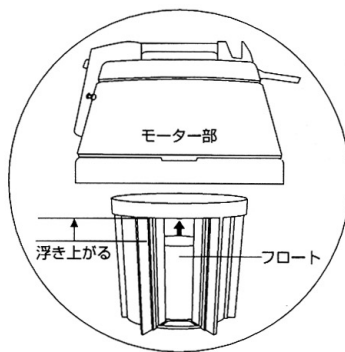


作業



電源スイッチOFF

- ・一定量吸い込むと、内部のフロートが働いて吸い込みを停止します。停止を確認しましたら、ただちに電源スイッチを切り(OFF)、集じん機の電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- ・タンク内部の液体をこぼさないよう、静かにモーター部などを取り外してください。タンク内に溜まった液体を、排出してください。
- ・排出後は、元のようにモーター部などを取付け作業を続けてください。
- ・作業終了後は、集じん機の電源プラグを電源コンセントから抜き、とりまとめ収納してください。



- ・タンク内に溜まった液体を排出したのち、フィルタを取り出し、タンク内部とフィルタを乾燥させてください。

■保守と点検

⚠ 警告

1. 保守、点検、部品交換などお手入れの際には、必ずスイッチを切り電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
けがや感電事故の原因になります。

- ・使用後は、内部に溜まったダストなどを取除いてください。また、フィルタなどに付いたホコリなども取除いてください。
- ・各部にネジのゆるみや異常がないか、点検してください。
- ・ホースや延長管、床ブラシ、スキージーツールなどは、いつも清潔にしておいてください。ホースや延長管、スキージーツールなどを水で洗った後は、よく乾かしてください。
- ・モーター部、タンクなどは、乾いた布などで汚れを拭き取り、いつも清潔に保ってください。
- ・モーター部には水を掛けないでください。乾湿両用タイプでも防水構造ではありません。また、金属部についても、錆が発生しないよう水分が付着したまま放置しないでください。
- ・防錆油などを塗布するなど、心がけてください。
- ・揮発性の溶剤やガソリン、シンナーなどで洗ったり、拭いたりしないでください。
- ・保管は、屋内の直射日光が当たらない、涼しいところに保管してください。また、落下などの恐れのない安定したところに保管してください。

部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明な点があった場合には、
ご遠慮なくお買上げの販売店、またはリョービ販売営業所にお問い合わせ
ください。

※改良のためお断りなく仕様、外観などを変更することがあります。

RYOBI

発売元

リョービ販売株式会社

本社 〒468-8512

名古屋市天白区久方1-145-1

TEL.(052)807-1600 FAX.(052)807-1606